

総括質問

今定例会では、15人の議員が議案や市政を問う「総括質問」を行いました。

詳しい質疑内容は、会議録又はインターネット中継をご覧ください。

★質問者の文責により質問と答弁の要旨を掲載しています。



12月 定例会概要

11/25~12/20・会期26日間

11月25日 本会議 (第1日)

- 決算認定議案の表決
- 市長提出案件の上程、提案説明
- 市長提出議案8案件の表決

12月6日~9日 本会議 (第2~5日)

- 総括質問
- 12月13日~14日 常任委員会
- 13日 総務経済常任委員会
都市建設常任委員会
- 14日 環境厚生常任委員会
教育民生常任委員会

12月20日 本会議 (第6日)

- 市長提出議案の表決

清風クラブ



選ばれるまち・住み続けるまちに向けて

諸伏 清児 議員

平成29年度予算編成について

問 27年度の行政効果及び決算を踏まえ、29年度予算編成にどのように反映させ施策を講じていくのか。

市長 監査委員からの決算審査意見書、決算特別委員会での指摘事項や意見を踏まえ、各事業の決算額や予算執行状況、事業の進捗状況の検証など、決算分析を行う。それを予算編成過程で整理し、予算案を策定していく。

問 28年8月に子育て支援の強化充実に向けた政策フレームを策定し、財源を確保するため、子ども・子育て基金を創設したが、予算編成にどのように反映するのか。

市長 政策フレームに基づき、待機児童対策や子育て

拡大や商品開発など本市の産業振興に資する効果を期待している。

教育現場の環境整備「一奏プラン」

問 中学校給食への展望について伺う。

教育長 中学校における昼食は、当面、家庭からの弁当と当日の朝に注文可能な業者弁当方式を併用していく。また、評価調査を実施



子育て世代から選ばれるまちについて

数田 俊樹 議員

問 総合計画で合計特殊出生率の目標数値を平成31年度に1・42、35年度に1・51としている。今後、実施計画をどのように実行していくのか。

副市長 若い世代を中心としてより多くの方が本市を選び、住み続けてもらえるように、妊娠、出産、育児

し、生徒や保護者のニーズにあった事業を継続していく。今後は、給食への要望も含め、検討委員会などを設置し、本事業の評価と中学校給食の在り方について検討していく。

問 中学校給食に対する市長の考えを伺う。

市長 まずは、エアコンの設置やトイレの改修など子供たちが安心・安全で勉強や学校生活ができる環境づくりを優先したい。その先に中学校の給食を見据えた検討も必要ではないかと思

い、教育委員会に指示をした。これから具体的な検討をしていかなければならないと思っている。

問 本市の小・中学校におけるエアコンの設置状況並びに普通教室への設置に向けた取り組みを伺う。

教育長 小・中学校の特別教室や職員室などの管理諸室への設置は完了した。普通教室への設置は、財源などの制約はあるが、来年度から着手していきたいと考えている。

けるトイレの洋式化の進捗状況について伺う。

教育長 洋式化の割合は、今年度の改修工事などが終了すると、40・7%になる予定である。来年度以降も校舎や体育館の大規模改修などに合わせて改修していく。また、年度末に、学校や子ども教育相談センターと協力し、肢体不自由児童・生徒などの入学・進学などに合わせて順次洋式化を行っていく。

また、28年12月に登録受付を開始し、申し込んだ企業による合同イクボス宣言式を29年2月に開催できるように準備を進めている。多くの企業が趣旨に賛同し宣言してもらいたいと考えている。そのため企業への働き掛けや講習会などを継続的にを行い、イクボスとなることのメリットを広く周知していく。

問 官民が連携した事業としてイクボス宣言の取り組みに期待するが、どのように展開していくのか。

副市長 宣言を行った企業をイクボス宣言企業として登録し、取り組みを広く公表することによって、ほかの市内企業におけるワーク・ライフ・バランスの推進を図ることを目的とした制度を創設していきたい。

また、28年12月に登録受付を開始し、申し込んだ企業による合同イクボス宣言式を29年2月に開催できるように準備を進めている。多くの企業が趣旨に賛同し宣言してもらいたいと考えている。そのため企業への働き掛けをしていく段階であり、国を挙げた取り組みであり、大企業では国によるいろいろな認定制度があると思う。そのため本市では、中小企業に力を入れていき、参考となる事例なども研究しながら進めていきたい。

問 子育て世代に選ばれるまちを目指してかじを切り、民間と連携したイクボス事業を実施し機運を高めていくとして出しているが、成果を数字として出しているか。

市民部長 これから企業に働き掛けをしていく段階である。国を挙げた取り組みであり、大企業では国によるいろいろな認定制度があると思う。そのため本市では、中小企業に力を入れていき、参考となる事例なども研究しながら進めていきたい。

た。26年は、全国平均が1・42、神奈川県が1・29、本市が1・25となっており、県内市町村で18位であった。本市は年々順位を下げていく状況にある。数値の伸び率を見ると、31年度に1・42という目標数値は非常に難しいと感じるが見解を伺う。

企画政策部長 国の目標と同様の上昇を目指して数値を設定した。目標を達成できるように、子ども・子育て

また、28年12月に登録受付を開始し、申し込んだ企業による合同イクボス宣言式を29年2月に開催できるように準備を進めている。多くの企業が趣旨に賛同し宣言してもらいたいと考えている。そのため企業への働き掛けをしていく段階であり、国を挙げた取り組みであり、大企業では国によるいろいろな認定制度があると思う。そのため本市では、中小企業に力を入れていき、参考となる事例なども研究しながら進めていきたい。

また、28年12月に登録受付を開始し、申し込んだ企業による合同イクボス宣言式を29年2月に開催できるように準備を進めている。多くの企業が趣旨に賛同し宣言してもらいたいと考えている。そのため企業への働き掛けをしていく段階であり、国を挙げた取り組みであり、大企業では国によるいろいろな認定制度があると思う。そのため本市では、中小企業に力を入れていき、参考となる事例なども研究しながら進めていきたい。

また、28年12月に登録受付を開始し、申し込んだ企業による合同イクボス宣言式を29年2月に開催できるように準備を進めている。多くの企業が趣旨に賛同し宣言してもらいたいと考えている。そのため企業への働き掛けをしていく段階であり、国を挙げた取り組みであり、大企業では国によるいろいろな認定制度があると思う。そのため本市では、中小企業に力を入れていき、参考となる事例なども研究しながら進めていきたい。

また、28年12月に登録受付を開始し、申し込んだ企業による合同イクボス宣言式を29年2月に開催できるように準備を進めている。多くの企業が趣旨に賛同し宣言してもらいたいと考えている。そのため企業への働き掛けをしていく段階であり、国を挙げた取り組みであり、大企業では国によるいろいろな認定制度があると思う。そのため本市では、中小企業に力を入れていき、参考となる事例なども研究しながら進めていきたい。

議長ダイアリー

平塚市議会議長 府川 正明



議長の出席した主な会議などをお知らせします。(11月~1月)

- 11月10日 秦野中井インター・平塚アクセス道路事業化促進協議会県要望活動、新湘南国道並びに藤沢大磯線新設改良促進協議会県要望活動
- 11月22日 全国自治体病院経営都市議会協議会自治体病院全国大会2016「地域医療再生フォーラム」
- 11月26日 平塚市交通安全功労者表彰式
- 12月3日 平塚市青少年健全育成表彰式
- 1月7日 平塚市消防出初式
- 1月8日 平塚市市内駅伝競走大会
- 1月9日 平塚市成人式
- 1月26日 全国競輪主催地議会議長会役員会

声や点字の議会だより

目の不自由な方に市議会の活動状況をお伝えするため、議会だよりの内容を朗読した「声の議会だより」を発行しています。また、点字版も発行しています。

問い合わせ 議会局 ☎21-8791